

開催日時 令和02年03月16日 午後03時30分～午後05時30分

開催場所 南千住警察署 講堂  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 2名

内 容

[業務説明]

- 1 前回の協議会で出された意見の取組結果について
  - (1) 「高齢運転者の運転免許証自主返納制度について自主返納促進のための対策等をお願いしたい。」旨の意見について  
商業施設の交通キャンペーンにおいて、高齢運転者にクイックアーム等の身体機能テストを体感してもらい免許証の返納を促す施策や、運転経歴証明書による優待割引制度等について説明した。
  - (2) 「東京2020大会の安全対策をお願いしたい。」旨の意見について  
各町会、自治会の防犯活動推進委員が全体パトロールとして地域の見守り活動を実施しているほか、荒川区役所と荒川三署で防犯会議を行うなど連携体制を強化している旨、また、テロ対策パートナーシップ参画者と共に訓練、合同パトロールを実施している旨説明した。
- 2 管内情勢について
  - (1) 管内の交通事故発生状況を踏まえた自転車・二輪車利用者に対する注意喚起や、幼児、保護者及び高齢者に対する交通安全教育・指導を強化した旨、また、取締り活動ガイドラインについて説明した。
  - (2) 犯罪抑止対策推進状況について説明した。
  - (3) 当署の検挙事例について説明した。
  - (4) 聖火リレーのセレブレーション及び東京2020パラリンピック大会競技の公式練習が管内で行われる旨を説明した。
  - (5) 110番入電状況とふれあいポリスの活動状況を説明した。
  - (6) 高校生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」や「大学生のインターンシップ」について紹介した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 取締り活動ガイドラインについて、管内の交通情勢を勘案し活動方針のとおり実施していく旨を説明し意見を求めた。
  - (2) 荒川区内は交通事故の自転車関与率が高く管内で昨年発生した交通死亡事故も自転車利用者であった。交通違反の取締りのほか、交通安全教育や実技指導、スケアードストレイト教室など、様々な交通安全施策を実施しているが、以下2点について意見を求めた。  
自転車利用者の心を捉える事故防止策について  
自転車利用者のマナー向上に効果的な施策について
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 取締り活動ガイドラインについては、署長からの説明のとおり昨年同様実施していただきたい。
  - (2) 自転車利用者の心を捉える事故防止策について  
ア スマホを活用し、怖い体験や自転車利用で気を付けていることなどのアンケートを定期的に配信してはどうか。  
イ 区で作成しているアポ電ポスターのように事故形態が見てわかるポスターを作成し、コミュニティバス、都電、町会掲示板、回覧板、学校に配布してはどうか。  
ウ ケーブルテレビやテレビCMなどで有名女優から呼び掛けてもらってはどうか。  
エ 「自転車が安心して通行できるよう、自転車通行帯を増やす。」このようなことを区と検討していただくのはどうか。
  - (3) 自転車利用者のマナー向上に効果的な施策について  
ア 事故形態と危険度を分析し、事故が多発している日光街道やその周辺の裏路地交差点等、実際の事故発生場所で自転車ストップ作戦を実施してはどうか。  
イ 良いマナーの自転車利用者には「交通安全グッズ」や「いいねシール」を配布してはどうか。

[その他の意見要望等]  
なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成31年度 第2回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時 令和01年12月18日 午後03時30分～午後05時00分

開催場所 南千住警察署 講堂  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 2名

内容

会議に先立ち、会長を互選した。

[業務説明]

- 1 前回の協議会要望「子供の安全対策（交通安全・児童虐待）」の取組結果について子供に対する効果的な実技交通安全教室、自転車利用者への安全教室を継続的に実施しているほか、区職員らと危険箇所合同点検を実施後、道路管理者にガードパイプの増設を依頼、更に横断歩道の路面標示の移設を上申し各種交通安全対策を実施中である。また児童虐待の未然防止対策として当署と北児童相談所、荒川区子ども家庭支援センター、学校等が常時連絡を取り合う体制を構築している旨を説明した。
- 2 管内の治安情勢について
  - (1) 管内の交通事故発生状況を説明し引き続き重大交通事故防止対策を継続的に推進し交通事故の傾向を踏まえた交通安全の取組みとして事業者に対する自転車・二輪車実技教室、高齢者・子供の交通安全指導を実施した旨を説明した。
  - (2) 犯罪抑止対策推進状況として刑法犯・指定重点犯罪の認知件数と検挙状況について説明後、これまでの各種防犯指導の効果により「欺されたふり作戦」で高齢者を狙った特殊詐欺事件被疑者の検挙に繋がった好事例を紹介した。地域安全のつどいも盛況で官民一体の金融機関一斉警戒や各種キャンペーンの実施等管内の方々と防犯意識を向上させる抑止対策を推進している旨を説明した。
  - (3) 祝賀御列の儀に伴う一連の警備完遂について説明後、隅田川花火大会や納涼祭の雑踏警備の安全対策、風水害等災害発生時に備えた各町会や老人ホーム等施設との防災合同訓練を実施し防災意識の向上を図った旨を説明した。
  - (4) 若手警察官の紹介と地域警察官の活動を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 高齢運転者による交通事故が発生している情勢を踏まえ、運転免許証の自主返納制度について、より広範に周知を図る効果的な方法について意見を求めた。
  - (2) 東京2020大会の安全開催のため地域住民の方からより広く管内の治安に資する要望や不審と感じたこと等を迅速かつ効果的に警察に知らせて頂く効果的な方法について意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 高齢運転者の運転免許証の自主返納制度について  
ご本人に体力や瞬発力の衰え、認識や判断力の度合いを自覚してもらう機会を増やすことが重要であると思う。例えば免許証の更新時や高齢者のコミュニティの場において、ゲーム感覚で手軽にできるテストのようなことを実施してもらい本人に認識させるきっかけを与える方法を検討してはどうか。  
運転免許証を返納することによって得られる特典があるとよい。例えばグループ商品券やクオカードがもらえる等。  
返納手続きを広く皆さんにより理解してもらうためにパンフレットやチラシを使い、例えば誰もが利用する大型食糧販売店等でPR活動をするのはどうか。
  - (2) 東京2020大会の安全対策について  
各町会の防犯部や関係者を介して協力を得るほか、防犯活動を任務とする「青パト」の活用や区施設における放送を活用して協力を呼び掛けると効果的ではないか。  
運送業者や郵便局の配達員等、戸別訪問を行っている事業者に対して、通報協力を要請してはどうか。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

開催日時 令和01年06月25日 午後04時00分～午後05時30分

開催場所 南千住警察署 講堂  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 2名

内容

会議に先立ち、会長、副会長を互選した。

[業務説明]

- 1 前回会議で出された意見要望の取組結果について  
特殊詐欺被害防止について、関係機関、協力団体等と連携し、タイムリーな情報発信と活発な広報啓発活動を推進している取組を説明した。
- 2 管内の治安情勢について
  - (1) 管内の交通事故発生状況について説明し、引き続き重大交通事故防止対策を継続的に推進し、交通事故の傾向を踏まえ交通安全の取組として自転車、高齢者の交通事故防止に加え二輪車、子供の事故防止・安全確保に注力し、二輪車実技教室、プロスタントマンによる「スケアード・ストレイト教室」を実施した旨説明した。
  - (2) 刑法犯・指定重点犯罪の認知件数と、検挙状況を説明した。
  - (3) 犯罪抑止対策において、特殊詐欺被害防止に向けた取組として地域安全座談会や金融機関一斉警戒等、管内住民の方と協同する上で特殊詐欺被害防止アドバイザー証を交付し活動意欲の高揚を図った。また地域ボランティア等と協同し自転車盗や痴漢防止キャンペーンを実施した旨を説明した。
  - (4) 子供の安全・安心対策として、少年補導員の方への「ひと声運動推進員・少年を守る環境浄化推進員」の委嘱、健全育成・非行防止活動の説明及び中学校での痴漢被害防止教室の際「デジポリス」を紹介し、子供たちの防犯意識の向上を図っている旨説明した。
  - (5) 震災等発生時、支障なく警察活動を行う備えとして各企業と施設提供、食糧供給協定締結した旨説明した。
  - (6) 天皇陛下御退位及び皇太子殿下御即位に伴う一連の警備に従事したほか、管内祭礼の警備完遂を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
小さな子どもが命を失うという、非常に痛ましい交通事故や通学時間帯における無差別殺傷事件、繰り返し行われる児童虐待等が発生し、子どもの安全対策が社会的にも注目を集めている。子どもたちの安全を守っていくことは警察の責務であるため、当署で各種対策を講じている。子どもの交通安全教室や児童虐待の未然防止について説明した上で、更に子どもの安全対策の取組を強化するための意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
子供の安全対策について、以下の取組を検討していただきたい。
  - (1) 交通関係として、子供の安全を考えた場合、自転車・歩行者の歩車分離の必要性等大人の方が自転車の交通ルール・マナーが低下しているため、自転車利用の大人に対する安全対策を強化する必要があるのではないか。
  - (2) 一般的にガードレールは危険回避、安全確保のため設置されているという認識だが保育園の付近に設置が無かったり、支柱しか残っていない等疑問を感じる箇所も見受けられることから、設置の基準・規定から現状の見直しを図ってみてはどうか。
  - (3) 横断歩道を渡る際もシルバーセンターの方々に見守られていることから、子供自身が危険に気付き、考えて行動する意識が低下していると感じる。各種安全教室において「自分の命は自分で守る」指導を一層強化していただきたい。
  - (4) 子供の健全育成のために開催する催事等、これまで大祭は交通・警備等警察にご協力をいただいているが、町会等小さな行事の場合も巡回等していただきたい。
  - (5) 児童虐待等が社会問題になっている。子育ての悩みを誰かに相談できていたら防止できたかもしれない。そこで、元警察官の方がアドバイス等対応していただけるコミュニティの場所を警察署に設置できたらよいのではないか。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「デジポリスの普及はいつからで、利用数はどれくらいあるのか。」という質問があったので、平成28年3月から配信を始め平成31年3月に子供・女性の内容

をリニューアルしたところ、ダウンロード数は275,000件で川崎市登戸の事件の発生で利用者が更に増えている旨回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

開催日時 平成31年03月19日 午後04時00分～午後05時30分

開催場所	南千住警察署 講堂	出席者	協議会委員 7名 署長ほか 2名
------	-----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況と交通事故防止対策について
  - (1) 管内の交通事故発生状況を説明し、引き続き重大交通事故防止対策を継続的に推進する旨説明した。
  - (2) 交通事故の割合や傾向を踏まえ交通安全の取組として安全教育・街頭活動・交通安全キャンペーンのほか、裏路地路面塗装や看板の設置等各種対策を実施した旨を説明した。
- 2 管内の治安情勢等について
  - (1) 刑法犯・指定重点犯罪等の認知件数を説明し、前回の協議会以降の主な検挙事例等を説明した。
  - (2) 犯罪抑止対策の中でも特殊詐欺被害防止に向け管内住民の方と協同し金融機関一斉警戒や各種街頭活動等にて防犯講話を聞く機会のない方にも注意喚起をするため、当署考案のシールやピラを配布し広報啓発活動を推進している旨を説明した。
  - (3) 自転車盗難被害防止対策として、管理者対策の強化、防犯カメラ設置、定期的なキャンペーンを管内住民の方やボランティア等と協同し実施している旨を説明した。
  - (4) 子どもの安全・安心に向けた対策として、管内の保育園、小学校に対し不審者侵入対応訓練を通じ子供たちに防犯標語「いかのおすし」で安全教育、職員には110番通報要領や刺股を使った制圧訓練を実践してもらい、危機意識を高め問題点の抽出を図った。また、青少年育成を目的に環境浄化活動やイベントを通じ達成感を体感させる活動を説明した。
- 3 警備対策について
  - (1) 年末年始の雑踏警備無事完遂したほか災害発生を想定した救出救助訓練を実施した旨を説明した。
  - (2) つくばエクスプレス南千住駅で行ったテロ対処訓練がネットニュース配信された旨

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 

平成30年中の警視庁管内における特殊詐欺被害件数は、3,914件、被害総額約84億5千万円、前年比+403件、被害総額約4億7,400万円増加している。当署管内では被害件数が11件、被害総額約3,000万円であり、まさに危機的な状況にある。さらに犯人からのアポ電の後強盗に入られ家人が殺害される等、凶悪化している状況にある旨及びその対策について説明した。

増加の一途をたどる特殊詐欺被害を防止するための取組のあり方について意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 

危機的状況にある特殊詐欺被害防止について、以下の取組を検討していただきたい。

  - (1) 不動産・宅建の組合があり、荒川支部の会合において、荒川区3署が協同し、危機的現状を説明し被害をくい止めるための協力要請を働きかけ、官民一体となり対策を講じてはどうか。
 

宅建・荒川支部は荒川区全域を見ている不動産業者の組合であり、独居の高齢者等情報を把握している。従って個人情報等の関係からも、荒川3署の協同体制が必須であり、3署一丸となり支部に協力要請することが重要である。

協力が得られれば、防止対策（自動通話録音機の設置、パンフレットの配布等）がよりダイレクトに図れるのではないかと。
  - (2) 緊急通報ブザーの配布の検討をしてはどうか。
 

現在、独居高齢者の人命救助のため設置されているものだが、音声も入るのでお金の話をされたらブザーを鳴らすホットラインとして活用できるのではないかと。
  - (3) 地域包括センター、区役所等ととも情報共有し独居高齢者に注意喚起を強く発信してもらってはどうか。

[その他の意見要望等]

委員から、「自動通話録音機を設置したことで被害が防げたという統計はあるか。」という意見があったが、荒川区は増設をして普及推進しているが、行政ごとにより取組に格差があることから、統計は出していないことを説明したところ納得した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第3回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年12月14日 午後04時00分～午後05時15分

開催場所	南千住警察署 地下会議室	出席者	協議会委員 7名 署長ほか 2名
------	--------------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況と交通事故防止対策について
  - (1) 管内の交通事故発生状況を説明し、引き続き重大交通事故防止対策を継続的に推進する旨を説明した。
  - (2) 自転車・高齢者・子供が関与する交通事故の割合や傾向を踏まえ、交通安全の取組として高齢者安全教育、交通街頭活動、高齢者宅訪問、交通安全キャンペーン等各種対策を実施した旨を説明した。
- 2 管内の治安情勢等について
  - (1) 刑法犯・指定重点犯罪等の認知件数を説明し、前回の協議会以降の主な検挙事例等を説明した。
  - (2) 犯罪抑止対策の中でも特殊詐欺被害防止に向けた取組について挙署一体の体制を構築し車載広報を実施、また防犯講話等を聞く機会のない方にも注意喚起するため当署考案のシールやビラ、リーフレットを高齢者利用施設に協力依頼し設置した。各種街頭キャンペーンでは自動通話録音機の普及活動、金融機関一斉警戒、つどい、全体パトロール、商業施設や催事会場等あらゆる機会を捉え街ぐるみで実施し未然防止対策に取組んだ旨を説明した。
  - (3) 子供の安全・安心に向けた対策として「こども110番の家」の協力依頼、環境浄化活動、街頭パレード、管内の保育園・小学校に対し不審者侵入対応訓練等を実施した旨を説明した。
- 3 警備対策について
  - (1) 災害の発生を想定した訓練（樹木伐採訓練、第六方面区内11署合同レスキュー訓練、養護老人ホーム合同避難訓練）等実施した旨を説明した。
  - (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における「テロを許さない街づくり」に向け爆発物テロ対処合同訓練を実施した旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け対策を行っているが、今後、各町会、行政機関、公共交通機関等の関係団体と協力し「テロを許さない街づくり」を深化させるためには、警察としてどうすべきか意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
各町会、行政機関、公共交通機関等の関係団体と協力し、以下の取組を検討していただきたい。
  - (1) 不審物を置かれそうな場所を選定し、点検箇所として地図に落としておく。
  - (2) 樹木の伐採をしておき、不審物を発見し易い環境整備をしておく。
  - (3) 夜回りの強化をする。
  - (4) 南千住駅における犯罪抑止対策を強化する。
  - (5) 「防犯パトロール中」と表示のある腕章、着用ベスト、自転車かご装着板等を配布し、抑止力効果を図る。
  - (6) 民泊、ゲストハウスが登録制になったことから、情報収集の把握と警察官立ち寄り所ステッカーを貼付させ警戒強化を図る。

[その他の意見要望等]

委員から「交番の表示が分かりづらいのでは」との意見が出たので、交番に夜間点灯するランドマークを付けていることを説明したところ快諾した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。



平成30年度 第2回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年09月25日 午後04時00分～午後05時15分

開催場所 南千住警察署地下会議室  
出席者 協議会委員 6名  
署長ほか 2名

内容

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況と交通事故防止対策について
  - (1) 管内の交通事故発生状況を説明し、引き続き、重大交通事故防止対策を継続的に推進する旨を説明した。
  - (2) 自転車と高齢者が関与する交通事故が多い傾向に変化がないため、引き続き、自転車の事故防止対策、高齢者対策を強化していく旨を説明した。
  - (3) 自転車、高齢者の交通事故防止対策として、警察官による街頭配置や交通指導取締り、街頭における自転車キャンペーン、路上イベントや看板の設置、自転車安全教室等の対策を実施した旨を説明した。
- 2 管内の治安情勢等について
  - (1) 刑法犯・指定重点犯罪等の認知状況を説明し、前回の協議会以降の主な検挙事例等を説明した。
  - (2) 特殊詐欺被害が増加していることから、金融機関やコンビニエンスストアなどのATM対策、金融機関一斉警戒、高齢者に対する広報啓発活動などの対策を実施した旨を説明した。
  - (3) 子供の安全・安心に向けた対策として、「こども110番の家」の協力依頼、防犯活動推進委員等の研修会、管内の保育園・小学校に対しての不審者侵入対応訓練等を実施した旨を説明した。
- 3 警備対策について
  - (1) 隅田川花火大会警備対策、コツ通りで行われた盆踊り大会警備対策を説明し、関係者と連携し、事故なく無事に警備を終了した旨を説明した。
  - (2) 尾久署と合同で行ったテロ対策訓練、第二機動隊のレスキュー展示訓練、震災警備総合訓練などの訓練を実施した。今後も署員に対する各種訓練を継続していく旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
地域防災力の強化方策について  
当庁では東日本大震災を教訓に來たるべき「首都直下地震」に備えているところ、近年では、気候変動の影響等による豪雨や雪害のリスクの高まりなど、地震以外の大規模な自然災害による甚大な被害の発生が懸念され、その対策が大きな課題となっている。  
当署では、各町会、各小中学校等と防災訓練を実施しているが、地域防災力を更に深化させるため、防災訓練等の効果的な取り組み方法について意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
警察署・区役所防災課・消防署・町会との合同訓練を実施できるように検討していただきたい。  
警察署や区役所等で、独居世帯情報があるのであれば、震災時等に活用できるようにしていただきたい。

[その他の意見要望等]

委員から「侵入盗被害対策として、警察官のパトロールを強化してほしい。」旨の要望があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第1回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年06月29日 午後04時00分～午後05時15分

開催場所 南千住警察署地下会議室  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 2名

内容

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況と交通事故防止対策について  
管内の交通事故発生状況を説明し、前回の協議会で説明したとおり、自転車と高齢者の交通事故関与率が高いという特徴があることから、高齢者を対象とした交通安全教室や反射材貼付等の各種活動を実施し、一定の効果が表れている。また、自転車事故を防止するため、制服警察官や白バイ隊員の交通配置や交通指導取締り、街頭における自転車を対象としたキャンペーン、荒川区役所等の関係機関と協力し、自転車に安全確認や一時停止を注意喚起するための路上ペイントや看板の設置、自転車事故の危険性や安全な利用の重要性について理解を深めるため、スケアード・ストレイト方式や体験型などの自転車安全教室を行うなどの対策を実施した旨を説明した。
- 2 管内の治安情勢等について  
刑法犯・指定重点犯罪等の認知状況を説明し、前回の協議会以降の主な検挙事例等を説明した。また、特殊詐欺被害が増加していることから、警視庁では部門を問わず、全庁を挙げて各種対策に取り組んでいる。南千住署においても挙署一体の体制を構築し、犯人検挙と被害防止の両面での対策を講じている旨を説明した。
- 3 警備対策について  
石濱神社・素盞雄神社（天王祭）・胡録神社の祭礼警備対策について説明した。また当署、荒川署、尾久署、向島署の4署合同での水難救助訓練の実施、また、近年ゲリラ豪雨（集中豪雨）での被害が多く発生していることから、当署では南千住レスキュー隊を中心に各種訓練を実施した旨を説明し、今後も署員に対する各種訓練を継続していく旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
自転車の交通事故防止及び利用マナー向上について  
・ 自転車の交通事故防止対策の実施状況  
・ 自転車安全教室や自転車キャンペーンの実施状況  
等について説明した上で、更なる事故防止や利用マナー向上について意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
自転車が関与する交通事故多発地点に街頭カメラ等の設置を検討していただきたい。  
電動自転車や自転車のスピードの出し過ぎによる交通事故防止やマナー向上については、あらゆる機会を通じて注意喚起をしていただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「雨の日の通勤時間帯、親子ガード下周辺には、ガードレールが設置されている影響で、傘を差して歩いている歩行者がいるため、自転車はガードレールの外側に大きくはみ出して通行していることから、道路が渋滞し、危険なことがあるので、警察官の配置を検討していただきたい。」旨の要望があった。
- 2 委員から「特殊詐欺被害に注意する旨の広報をよく聞くようになったので、引き続き広報活動を実施していただきたい。」旨の要望があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第4回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年03月22日 午後04時00分～午後05時15分

開催場所 地下会議室  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 2名

内容

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況と交通事故防止対策について  
管内の交通事故発生状況を説明し、自転車と高齢者の関与率が高いことから、警察官や白バイによる交差点配置や交通取締りのほか、東京都や荒川区役所等の関係機関と協力し、自転車事故防止のための路上ペイントや看板の設置を行ったり、歩行者が横断歩道以外の危険な場所を横断しないよう、注意を喚起する横断幕を設置するなどの対策を実施した旨を説明した。
- 2 管内の治安情勢等について  
刑法犯・指定重点犯罪等の認知状況を説明し、前回協議会以降の主な検挙事例を説明した。
- 3 警備対策について  
初詣、節分祭、祭礼等の警備対策について説明し、本年も、各種警備に際しては、万全の体制で臨み、各種事故の防止に努め、いつ発生してもおかしくないと言われている大規模災害等発生時に的確に対応できるよう、署員に対する各種訓練を継続していく旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
自転車盗難被害防止対策について
  - ・ 防犯カメラの設置状況
  - ・ 警察署におけるこれまでの取組状況
 などについて説明した上で、更なる取組のあり方について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
防犯カメラが設置されている場所での盗難被害が少ない事は理解できた。今後も防犯カメラの設置が進むように、警察署から町会や自治体への働き掛けを実施していただきたい。  
自転車盗難の被害日時、発生場所等を分析し、被害防止対策に努めていただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「昼間帯公園にパトカーが2台くらい来ていたことがあり、何かあったのかと不安になりました。事件事故等の情報を確認する方法が知りたい。」旨の質問があり、警務課長代理から各地域で発生した「犯罪発生情報」や犯罪を防ぐために必要な「防犯情報」等をメールでお知らせする「メールけいしちょう」について説明した。
- 2 委員から「荒川区役所が小学生向けに防災無線で自宅に帰よう呼び掛けの放送を行っているが、警察でも車両で幅広く防犯広報を行ってほしい。」旨の要望があった。
- 3 委員から「先月、アパートで火災がありました。アパートの居住者は、介護が必要な人が沢山いましたが、警察官が的確な避難誘導をしてくれたことに、居住者一同感謝していることを署員の皆様に伝えてください。」との謝意があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。